



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

- 大学案内
- 入試情報
- 教育・学生生活
- 研究
- 社会連携
- 留学・国際交流
- 学部・大学院等
- 研究所・施設等
- 広報・報道
- 採用情報
- 校友会・同窓会
- 支援財団・基金
- 図書館・博物館等
- 大学病院
- 附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > NASAと国際GLASTチーム、ガンマ線天文衛星の名前とファーストライト(初期観測)で得た「全天ガンマ線宇宙図」発表

NASAと国際GLASTチーム、ガンマ線天文衛星の名前とファーストライト(初期観測)で得た「全天ガンマ線宇宙図」発表

広島大学学長室広報グループ

〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(※@は半角に置き換え送信してください。)

NEWS RELEASE



平成20年8月25日

記者会見のご案内

NASAと国際GLASTチームは、
ガンマ線天文衛星GLASTの新しい名前と
ファーストライト(初期観測)で得た「全天ガンマ線宇宙図」を発表

広島大学が開発し、日本で製造した高性能センサーを搭載したガンマ天文衛星 (GLAST:Gamma-ray Large Area Space Telescope)は、6月12日1時5分(日本時間)に、アメリカ合衆国ケープカナベラル空軍基地からNASAにより打ち上げられました。その後、衛星立ち上げ、動作試験および、望遠鏡試験観測によるガンマ線望遠鏡の性能校正試験が終わり、革新的な性能を発揮していることを確認しました。その結果、先週より本観測を開始しました。NASAおよび国際GLASTチームは、8月27日(日本時間)に、このGLAST衛星の新しい名称とファーストライト初期観測成果(全天ガンマ線宇宙図)を発表します。

衛星に搭載され、ガンマ線望遠鏡の主要エレメントとして用いられたセンサーは、予定通りすばらしい性能を発揮していることが確認され、我々はガンマ線を通して宇宙を見る、新しい窓を獲得しました。ガンマ線の窓からは、目(可視光)で見える宇宙の姿より遙かにダイナミックに活動している様子を捉えることが出来ると共に、宇宙で最も巨大な爆発であるガンマ線バーストなど、多数の宇宙の謎を解明することができると期待されています。

このガンマ線天文衛星の開発には、日本から広島大学、JAXA/ISAS、東京工業大学、東京大学の研究者が貢献しております。また研究資金としては、主として高エネルギー加速器研究機構・日米科学技術協力事業(高エネルギー分野)および、文部科学省科学研究費補助金(特定領域「ブラックホール天文学の新展開」研究代表者 深澤泰司(広島大学教授)により遂行され、その他理化学研究所、広島大学、JAXA/ISAS、東京大学の支援も受けています。

つきましては、下記のとおり記者会見を開催し、高性能ガンマ線天文衛星の新しい愛称と、初期成果について発表し、ご説明いたします。ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、是非ご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日時: 平成20年8月27日(水) 11時~12時

場所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター5階
リエゾンコーナー 501
(TEL:03-5440-9065)広島大学東京リエゾンオフィス)

出席者: 大杉 節(広島大学宇宙科学センター長)
深澤泰司(広島大学大学院理学研究科・教授)
高橋忠幸(宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部・教授)
河合誠之(東京工業大学大学院理工学研究科・教授)
高崎史彦(高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所長
/理事)

※本件配信先:文部科学記者会、科学記者会、専門紙、雑誌社

【記者会見に関するお問い合わせ先】
広島大学学長室広報グループ 担当:山下、村上
電話:082-424-6013、6017

広大公式アカウント一覧

- Twitter
- Facebook (日本語版)
- Facebook (英語版)
- YouTube
- 行事カレンダー
- ストリートビュー
- キャンパスカメラ
- 学内ポータル

